

服務研修（パワーハラスメントの防止）

1. ねらい

- ・パワーハラスメントの定義を確認する。
- ・ロールプレイを通して、日常で起こり得るパワーハラスメントに対する予防や対策を考え、職場で発生させないための視点と共通認識を持たせる。

2. 内容

（1）ロールプレイ

- ・日常の会話の様子から、ベテラン教諭が若年教諭に対してパワーハラスメントを行う様子を演じ、問題点について議論する。

（2）共通理解

- ・発表された意見を基に、ロールプレイ内のパワーハラスメントの場面について理解する。

（3）事例の確認

- ・過去の事例を紹介し、上司と部下の立場だけでなく、同僚間でも発生し得ることを確認する。
「教職員による不祥事の根絶(H29)」(広島県教育委員会)

（4）まとめ

3. 研修のまとめ

- ・人間関係、専門知識、経験などのさまざまな優位性を背景に行われているパワーハラスメントは、どの職種でも起こり得る問題であることを意識する必要がある。
- ・当事者は自覚するのが難しいため、発覚次第、迅速かつ組織的に対応ができる環境をつくる。
- ・同様の事案についてニュースが流れた際は、他人事として捉えずに、自分の行動と照らし合わせるなどして意識しておく。
- ・職員間の問題は少なからず生徒の学習環境にも影響する。生徒第一に考えられる職場の維持に努めたい。

